

研修医・指導医リレーエッセー⑯



川崎医科大学総合医療センターでの研修を通して

川崎医科大学総合医療センター 初期研修医 出口 和希

岡山県医師会会員の先生方はじめまして。川崎医科大学総合医療センター初期研修医1年目の出口和希と申します。香川県出身で、川崎医科大学を卒業しました。今回は、このような貴重な機会をいただき大変光栄です。何を書けばいいのか迷ったのですが、せっかくなので、当院での研修を選んでよかったです！と思うポイントについてお話しさせていただこうと思います。少しでも当院の良さを知っていただければ幸いです。



指導医の河田先生（左）と筆者

まずは、非常に立地が良いところです。大学は倉敷市の中庄にあり、とてものどかでいいところだったのですが、6年間も住んでいるとやっぱり岡山市内で暮らしたい！という思いが大きくなりました。当院の周りには路面電車の駅も多いですし、岡山駅も徒歩圏内であるため、

ふらっと新幹線で県外へ出かけることも増え、行動範囲が広がったなと感じます。

次に、同期が多すぎず少なすぎないところです。今年の研修医1年目は13人と、例年に比べやや多いですが、みんな仲が良くとても楽しい毎日を過ごせています。私にとっては、昼休みや仕事終わりに研修医ブースで同期のみんなと話をする時間が息抜きになっており、心の支えになっています。思いやりのある人が多く、いつも助けてもらつてばかりで、同期たちには本当に感謝してもしきれないと常々思っています。

そして最後は、上級医の先生方にいろいろなことを相談しやすいところです。働く上でこれが一番大切なではないかなと私は感じています。私が研修医になってから一番怯えていたことが当直でした。最初こそおろおろと先輩や上級医の後ろをついていくことしかできませんでしたが、初期対応から検査オーダーの立て方まで丁寧にご指導くださる先生方のおかげで、少しは度胸が付いたような気がしています。わからないこと、困ったことをすぐに聞ける環境は非常にありがたいですし、成長にもつながると実感しています。

また、フレンドリーにお話ししてくださる先生方が多いので、仕事の話だけでなく、おすすめのアニメやドラマを教えてくださったり、美味しい食事に連れて行ってくださったりと、本によくしていただいている。今回の「研修医・指導医リレーエッセー」で指導医の投稿を担当される河田先生も私の大好きな先生の一人で、なぜか毎月当直が一緒になるので勝手に運命を感じています。私自身、今は内科に進もうと考えているので、内科で日々働いておられる河田先生からはたくさん学ぶことがあります。あまりにも毎月当直が一緒になるので、「出口先生、この患者さんの診察と検査オーダー全部思うようにやってみられ～」と言っていたことがあります。まずは自分でやってみるとともに、信頼して任せていただける嬉しさを感じています。

気づけば研修医1年目もあと4ヶ月しかありません。毎日が必死すぎて、もうそんなに時が経つたのかと驚きますが、これからも一日一日を大切に精進してまいります。



同期全員でビアガーデンへ